

1

【聞き取り検査】放送による指示に従いなさい。答えは、解答用紙に記入しなさい。

竹

萩原朔太郎

- 1 光る地面に竹が生え、
- 2 青竹が生え、
- 3 地下には竹の根が生え、
- 4 根がしだいにほそらみ、
- 5 根の先より**繊毛**が生え、
- 6 かすかにけぶる**繊毛**が生え、
- 7 かすかにふるえ。
- 8 かたき地面に竹が生え、
- 9 地上にするどく竹が生え、
- 10 まつしぐらに竹が生え、
- 11 凍れる節節りんりと、
- 12 青空のもとに竹が生え、
- 13 竹、竹、竹が生え。

(注) 繊毛——細かい毛のこと。

2

次の文章は、兼好法師の著した随筆『徒然草』の一節について、原文を引用しつつ書かれた解説文である。これを読んで、①～④に答えなさい。

一四一段「悲田院の堯蓮上人は」では、関東武士の出である上人に、故郷の人が、「京都の人にもを頼むと、引き受けることばはいいが約束を果たしてくれない」と非難しますが、上人は、「自分は都に長く住んで見慣れているが、京都の人の心が劣っているとは思いません」と語り始めます。

①「おのれは都に久しく住みて、馴れて見はべるに、人の心劣れりとは思ひはべらず。なべて、心柔らかに、情けあるゆゑに、人の言ふほどのこと、けやけく否びがたくて、よろづえ言ひ放たず、心弱くことうけしつ。偽りせんとは思はねど、乏しく、叶はぬ人のみあれば、おのづから、本意通らぬこと多かるべし。吾妻人は、我が方なれど、げには、心の色なく、情けおくれ、ひとへにすぐよかなるものなれば、始めより否と言ひてやみぬ。…」

堯蓮上人は、「京都の人は、何につけ心がやさしく思いやりがあるのて、頼まれるとはつきりいやと言えずに引き受けてしまうのですよ。うそを言うつもりはないが、貧しくてくらしも思うままにならないので、約束が守れないことも多いでしょう」と、うわべの姿でなく、その奥にあるものを見ようとします。さらに、故郷の人だからと身びいきせず、「関東の人たちのほうが人情味が薄く、気性も強いので、初めからいやといえるのです」と言います。この話を聞いた兼好法師も、上人がことばになまりがあって荒っぽく、見た目のよくない人なので、仏の教えも

よく理解していない僧かと思っていたが、やさしい心があるから僧たちの上に立てるのかと見直しています。

①「おのれ」に当たる人物の故郷はどこか。解説文の中から漢字二字で抜き出して書きなさい。

②「ゆゑ」の「ゑ」の字源(ひらがなのもとになった漢字)を行書で書いたものとして適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。

- (1) 知 (2) 留 (3) 衣 (4) 恵

③「けやけく……ことうけしつ」とあるが、京都の人がこのようにしてしまう理由について堯蓮上人はどのように考えているか。それを説明した次の文の [] に入る適当なことを、解説文の中から十五字以内で抜き出して書きなさい。

京都の人は [] から。

④ 筆者は、堯蓮上人が京都の人を見る姿勢と、兼好法師が堯蓮上人を見る姿勢のどういったところに共通点を見出しているか。それを説明した次の文の [] に入る適当なことを、解説文の中から二十字以内で抜き出して書きなさい。

[] を見るところ。

長かった梅雨が明け、いよいよ夏が到来すると、さすがにこの不人気な屋内市民プールにも子供の姿が目立つようになってきた。特に夏休み初日ともなると、異様な熱気ではしやぎ回る子供たちにプールは占拠され、水泳の練習をするどころではなかった。

仕方なく、克彦たちはプールサイドのベンチに並んで座り、子供たちが遊び疲れて帰っていくのを待つことにした。

「そういえば、佐山さんはどれくらい距離を泳げるようになりますか? 具体的な目標とかありますか?」

ふと思いついて克彦は尋ねてみた。

「そうですね……」

佐山は遠い眼差しになると、しばらく考え込んだ。何か過去のことを思い出しているような表情を浮かべていたが、やがて、

「向こうのプールの端からあそこまでは泳げるといんですけど」

と水面の一点を指さした。ざっと目算すれば、二十メートルほどになるだろうか。

「その距離に何か意味はあるんですか?」

「……いえ、何となくです」

佐山はプールに視線を向けたまま、気恥ずかしそうな横顔を見せていた。

それから、夕方近くになってプールが空いてくると、克彦たちはいつものように水泳の練習を始めた。

佐山がビート板を使っていたに二十五メートルを泳ぎ切ったのは、その三日後だった。

プールサイドで拳を握り締めながらじっと見守っていた克彦は、佐山がコースの端に到達した瞬間、歓喜の声を上げていた。立ち上がった佐山は苦しげに表情を歪めながらも、大きく手を振って応じた。

と、そのとき、プールの対岸から拍手の音が聞こえてきた。見るとウォーキング専用レーンにいた老人たちが、みんな足を止めて佐山に笑顔を向けていた。言葉を交わす機会はありませんまでも、懸命に努力を続けるその姿に老人たちは共感を覚えていたのだろう。佐山は照れ臭そうに振り返り、べこりと頭を下げた。

プールから上がった佐山を迎えると、

「ここまでくれば、もう少しですよ。水に浮かんで前に進む感覚はつかめたでしょうから、後は腕の使い方方を練習するだけです」

◎克彦は声を弾ませて言った。

「ありがとうございます、これも広池さんが指導してくれたお陰です」

佐山は自信に満ちた笑顔でそう応じた。ベンチで一休みした後、今の感覚を忘れたくないから、と言って佐山は再びプールに戻っていった。あまり無理をさせるのは心配だったが、顔色は良いし疲れた様子もないので、本人の好きなようにさせることにした。

それにしても、まさか本当にここまでやるとは思わなかった。この調子でいけば目標を達成するのは時間の問題だろう。何かを始めるのに遅すぎることはない、という言葉が克彦の頭の中に蘇る。佐山はまさにその信念が正しいことを証明しつつあるのだ。

佐山に敬意を覚えるのと同時に克彦が自己嫌悪を感じたのは、これまでも何か困難にぶつかると同時に、始めるのが遅すぎたのだから仕方ない、と自分に言い訳をしてあっさりとかきかせるような生き方をしてきたからだった。中学卒業と同時に水泳を止めたのは、小さい頃からスイミングスクールに通っている連中に勝てるわけがないと思ったからだし、高校で入ったサッカー部を半年で止めてしまったのも昔からずっとサッカーをやってきた仲間たちの実力に追いつくのは無理だと考えたからだ。

自分では無意味な努力をしない利口な選択をしてきたつもりだったが、結局それはただ困難から逃げていただけなのだろうか。

⑤ 克彦はベンチに座って佐山の泳ぐ姿を眺めながら、ずっと自問を繰り返した。

やがて、プールから上がった佐山は、さすがに疲労の色を浮かべ、

「そろそろ引き揚げて食事へ行きましょうか」

と声をかけてきた。顔上げて立ち上がった克彦は、佐山と一緒にシャワールームへ向かいながら、

「それにしても、毎回あの店に連れて行ってもらって僕は嬉しいんですけど、佐山さんはカレーばかりで飽きてないんですか?」

「正直に言えば、最初の頃はこんな辛いだけの食べ物のごがいいんだろうと思っていたんですがね、広池さんと一緒に通っているうちに、だんだんとカレーの良さが分かかってきましたよ。今じゃあ私も一日に一度はあの店のカレーを食べないと気が済まないんです」

佐山は愉快そうな口ぶり で言った。

シャワーを浴びて服を着替え、建物から外へ出ると、眩い夏の日差しが降り注いできた。手をかざして空を見上げながら、たまにはどこか別のプールへ行つて太陽の下で泳ぐのも悪くないかな、と克彦は思った。

(注) あの店——「佐山」の知り合いのカレー店。「佐山」は、いつも練習の後、お礼として「克彦」にカレーをごちそうしてくれていた。

- ① ————の部分⑦、⑧の漢字の読みを書きなさい。
- ② ～～～～の部分⑨～⑭の語のうち、他の三つと品詞が異なるものを一つ選び、その記号を書きなさい。
- ③ ◎ 克彦は声を弾ませて言った」とあるが、この時の克彦の気持ちとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。
- (1) 自分に決して過去を打ち明けようと思わない「佐山」のかたくなな心が解きほぐされる期待に胸を弾ませている。
- (2) 地道な努力を周囲から称賛された「佐山」の照れ臭そうな様子を受け止める気恥ずかしさに心が揺れている。
- (3) 目標としていた距離をついに泳ぐことができた「佐山」の心の張り気が失われてしまう予感に胸を痛めている。
- (4) 信念に基づき実直に努力を重ねる「佐山」の現段階での成果をたたえることができる喜びに心を躍らせている。
- ④ ◎ 克彦は……：自問を繰り返した」とあるが、この「自問」はどのようなことよって引き起こされたか。それを説明した次の文の□□□□に入れるのに最も適当なことを、文章中の□□□□を使って四十五字以内で書きなさい。
- 佐山と自分を比較して、□□□□のこと。
- ⑤ 文章中での「克彦」と「佐山」の会話の描かれ方について説明したものとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。
- (1) 「克彦」は相手への思いやりははつきり口にしているが、「佐山」は常にことはを選びながら遠回しな発言に終始している。
- (2) 「克彦」の口からは相手の思いをくみ取ろうとすることが発せられる、「佐山」も年下の相手に丁寧に接している様子が伺われる。
- (3) 「克彦」のことは先の見えない不安が何度も語られているが、「佐山」の発言はどれも自信に満ちあふれている。
- (4) 「克彦」の話し方には相手への配慮を欠いた軽率さがあり、「佐山」の□□□□にも目標の定まらない困惑が見て取れる。

次の文章を読んで、①～⑤に答え、⑥については、この文章中に述べられた筆者の考えも参考にして答えなさい。

もうだいぶ以前からのことですが、もの本でもマスコミでも、よく「共生」ということを耳にします。ちよつと気取った感じのつきまとうことばで、わたし個人としてはなかなか使う気になれないのですが、よく耳にするのは、わたしたちの社会で孤独の自覚がそれだけ広がった結果かもしれません。孤独の欠如感が、他者との精神的なつながりを求める。そして、他者との精神的なつながりが出来たこと、出来つつあることが「共生」として意識される。そんなふうには孤独から「共生」への道筋をたどれるように思うからです。「共生」ということばは、実際には、他民族との共生とか、異文化との共生とか、差別された人びととの共生といったように、^①タイキヨク的な視点に立つて使われることが多いのですが、核になるのは人と人がたがいがいの人柄に^②関心をもち、関心をもつことによって精神的につながっているという感覚です。近代社会が個人を必然的に自由で孤独な存在にたらしめる方向性をもつとき、一人では物質的にも精神的にも生きていけない人間が、自由であり孤独でありつつ人間的な共同性を作り上げていく。そういう現代的な^③イトナミを続ける上で、いまいう感覚はなにより大切なものだと思います。

そう考えると、「共生」の根にあるのは、共に楽しむ、共に喜ぶ、あるいは、共に苦しむ、共に悲しむ、といった情感の共有だと思われまます。情感の共有という受動的なもの、自然発生的なものと考えられがちですが、そうではない。十分に能動的、意識的、自発的な動きです。^④自由と孤独の境地から情感の共有へと至るのに、他人の人柄に^⑤関心を抱くという意識の働きぬきには一歩も前へと進めないのです。

個が自由であり孤独であるということは、他人との関係という観点からすれば、他人から切り離されているということ。人は人、自分は自分、というものの考えかたやふるまいかたが許容され、そのことが自覚されているということ。当然、情感の共有は簡単にはなりたない。共に喜び、共に悲しむというより、それぞれがそれぞれの情感を生きてというのが自由で孤独なわたしたちの自然なありようだからです。たまたま同じように喜ばしい境遇や同じように悲しい境遇にあつても、それぞれの抱く喜びや悲しみにはちがいがあつて、それを意識せざるをえないのがわたしたちの日常感覚です。

そうした自由と孤独の境地にあつて、自由と孤独を保持しつつ他人と精神的につながろうとすることが、人柄に^⑥関心をもち、関心をもつという心の動きです。自分と同じ人間でありながら、その考えかたや感じかたやふるまいかたが、あるいはその性格や癖や好みが自分とは大きく、あるいは微妙にちがつている。そのことをときにおもしろく、ときには不思議に思いつつ、相手を理解しようとする。そういう心の動きが相手の人柄に^⑦関心をもつことと切つても切れない関係にあります。⑧ということ、相手のほうにもこちらの人柄に^⑨関心をもち、こちらと精神的につながろうとする心の構えがなければならぬ。人と人との精神的なつながりは、一方だけだつたらゆたかさも持続性ももちえないからです。そして、

資料



(社団法人 日本新聞協会「2009年度 新聞広告クリエイティブコンテスト」より)

(注) この新聞広告の中に書かれている文は次の二つである。

「お金を借りるより
車を借りるより
家を借りるより
お隣さんに
醤油を借りるほうが難しい。」

「ふれあうことで絆は深まる。」

両方向の心の動きがあるとき、共に喜び、共に悲しむという情感の共有は、相手を理解するという試みのうちにしつかりと位置をあたえられるといえます。逆にいえば、情感の共有を欠いた理解は、精神のつながりという面からすれば、決定的に欠ける所があるといわねばなりません。
(出典 長谷川宏「哲学塾 生活を哲学する」)

① ———の部分④、⑤を漢字に直して楷書で書きなさい。

② 「孤独の……求める」とあるが、これは人間のどういった状態を表しているか。それを説明したものとして最も適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。

- (1) 以前は一部にしか存在しなかつた孤独の自覚が社会全体に広がるため、人間同士の精神的な交流が出来なくなる状態。
- (2) 一人では物質的にも精神的にも生きていけないため、自由で孤独であると同時に人間的な共同性を作り上げようとする状態。
- (3) 孤独や自由を求めても手に入ることが出来ないため、仕方なく他者との心と心のつながりを手に入れようとする状態。
- (4) 近代社会は自然発生的に個人を自由で孤独な存在にしてしまつたため、人と人がたがいがいの人柄に^⑤関心をもちたくなる状態。

③ 「関心」に否定の意味を持つ語をつけて三字熟語をつくるのと同時に否定の語をつけて三字熟語として成り立つ熟語は、(1)～(4)のうちではどれですか。

- (1) 安定 (2) 公式 (3) 条件 (4) 解決

④ 「自由と孤独の境地」とあるが、これはどのような状態のことか。それを説明した次の文の□□に入れるのに最も適当なことばを、文章中のことばを使って三十文字以内で書きなさい。

他人との関係において、□□状態。

⑤ 筆者は、「情感の共有」に至る過程で必要なこととして「相手の……ならない」と述べているが、それを説明した次の文の□□に入れるのに最も適当なことばを、文章中から十字以内で抜き出して書きなさい。

他人との間に精神的なつながりをもつ上では、□□が必要である。

⑥ 左の資料は「絆」をテーマにした新聞広告である。この新聞広告が伝えようとしていることについて、あなたはどのように考えるか。あなたの意見をあとの条件に従つて百五十文字以内で書きなさい。

1 最初の一文で、新聞広告が伝えようとしていることを書くこと。

2 新聞広告が伝えようとしている理由や根拠を明確にして書くこと。

検号
受番
(算用数字)
志願校

解答用紙

※

注意 字数が指定されている設問では、「」、「や」、「も」は使わない。

1

①

があること。

②

という提案をしたから。

③

2

①

②

③ 京都の人は

から。

④

を見るところ。

3

①

①

わす

②

③

④ 佐山と自分を比較して、

ところ。

⑤

4

①

①

み

②

③

④ 他人との関係において、

状態。

⑤ 他人との間に精神的なつながりをもつ上では、

が必要である。

⑥